

(工) 課題番号4

課題分野：Ⅱ		課題名：「意欲ある担い手の農業経営改善支援」	
対象：認定農業者・集落営農・加工グループ		計画期間：H27～29	
		農林振興事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果	
①担い手の農業経営改善支援 ②6次産業化による新たなビジネスへの取り組み支援	①経営改善資金計画作成や事業実施に対し個別に支援 ②事業実施、商品開発、商品力向上、商談会出展等への個別支援、企画及び技術指導等	①農業経営改善数7件増加。 ②新商品の開発3件	

総合評価（コメント）
<p>A：3名</p> <p>■全般によく取り組んでいただいています。味間いもなど中和の産物はまほろばキッチンが近いだけにその目玉商品としても開発に力を入れてください。もちろん販路拡大のための支援も一層よろしくお願ひします。</p> <p>■非常に重要な課題であり、これまで行ってきた活動の成果を活かし、継続的な活動を行って頂きたい。1人でも多くの担い手が地域に定着することを期待したい。</p> <p>■担い手の農業への意欲をうまく指導できている。</p> <p>B：3名</p> <p>■味間いもでは取組みは評価できるが、知名度アップにも取組まれたい。</p> <p>■意欲ある担い手の農業経営改善支援は必要な課題であるが、担い手側の支援体制に対する評価も検証してほしい。</p> <p>■加工品の開発、パッケージデザインなどは作物栽培とは異なるスキルが必要であり、得意分野を活かした相互連携による効率化、省力化などの検討もお願いしたい。</p>

普及指導計画への反映状況等
<p>■（味間いも知名度アップ）</p> <p>29年度は、フードックスジャパン出展、市場調査等販路拡大に向けた取組を行った。次年度は、「味間いも」の認知度を高めるため、出荷規格の統一を行い、生産量を確保するとともに新たな販路拡大を目指す。</p> <p>■（担い手側の支援体制に対する評価）</p> <p>制度資金等を活用し、新たな事業を開始した担い手に対しては、進捗確認及び技術や経営面のフォローアップを行っている。次年度は農業経営サポート事業を活用し、関係機関がチームとして担い手を支援する体制を整備するので、チームとして担い手側の支援体制に対する評価も検証する。</p> <p>■（6次産業化）</p> <p>6次産業化アドバイザーやデザイナーなどの各種専門家と連携するとともに、県農業研究開発センターと共に新たな加工品開発に取り組んでいる。今後も我々普及指導員は、意欲ある担い手が必要とするスキルを持った専門家を紹介するなど、コーディネート機能を発揮した支援を行う。</p>